

2026年 学校体育研究同志会 春の講座

運動文化論検討委員会 第4回研究会

学習指導要領の改訂が2027年に迫り、これに対する対抗軸としての「私たちの教育課程試案」の改訂作業も本格的に進めていかなければなりません。夏の飯能大会では「教育課程分科会」が設置され、理論的な検討も始まります。

これに先立ち、昨年春の講座を皮切りに、運動文化論の再検討の作業がスタートしました。昨年は森敏生氏に「運動文化論のこれまでとこれから」をテーマに、運動文化論の生成と展開、そして今日的課題を整理していただきました。その後、久保健氏には『「からだ」を起点として運動文化論の再構築と体育科教育の今日的課題を問い直す』提案を頂きました。久保提案は、これまで会として十分取り組んできていなかった「からだ」問題を考えるきっかけとなりました。

そして、第3回研究会では、山本敦久氏に『「ポスト・スポーツの時代」における『身体・身体技法』』について語っていただきました。そこでは、ビックデータや最新のテクノロジーによって、現代スポーツの中の「身体」が変容してきている姿が語られました。この変容は、トップアスリートに限定されたものではなく（そこで最も顕著ではあるものの）、私たちの日常的なスポーツ活動／日常生活も規定してきています。こうした「制御」の下で、そこに回収されないように私たちはどのように「身体」や「主体性」を取り戻していけるのか。こうした課題が顕在化されました。

そこで、第4回研究会では、改めて山本敦久さんに、市民スポーツ実践のレベルにおいて「ポスト・スポーツ時代」の身体・主体性をどのように捉えればよいのか、話題を提供頂きます。

- 期日：2026年5月9日（土） 12時より受付 13時から開始
- 会場：学校体育研究同志会 新宿事務所
- 開催形式：ハイブリッド
- 研究報告：「市民スポーツにおけるポスト・スポーツ 近代的身体／主体性を乗り越える」（仮）

山本敦久さん（成城大学／東京支部）

【指定討論者：現在調整中】

- 参加費：¥1,000

●日程

	12:00	13:00	13:30	15:30	16:30	17:30
5月9日（土）		受付	発題	山本講演 「市民スポーツ におけるポスト・ スポーツ 近代的身体／主 体性を乗り越え る」	指定討 論	討論 懇親会



★申し込み方法：右のQRコードから。または、同志会HPから Peatix でお申し込み下さい。
申し込み締切日：5月5日（火） 問い合わせ： 児玉 望（メール） k.nozomu@jcom.home.ne.jp